

Amazon、小田原 FC で一日職業体験プログラム「ジョブシャドウ」を実施 小田原総合ビジネス高校の生徒が Amazon の社員に同行して、実際に職業体験

Amazon.co.jp(以下 Amazon)は、7月24日(金)、神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校の1年生生徒10名を対象にした1日職業体験プログラム「ジョブシャドウ」を、アマゾン小田原フルフィルメントセンター(以下、小田原 FC)にて実施しました。「ジョブシャドウ」は、昨年 Amazon が小田原市で初めて実施し、今回で2回目の開催となります。

Amazon では、2013年の小田原 FC 操業開始以来、小田原市にご協力をいただき、小田原地域での積極的な採用活動や地域安全の確保、地元産業の支援など、地域と連携した様々な取り組みを行っています。

「ジョブシャドウ」もその一環で、若者の社会的適応力を育成する経済教育団体である公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本の協力の下、小田原総合ビジネス高校の生徒を対象に職業体験プログラムを実施。実際に生徒1名が Amazon の社員1名に数時間同行し、各職場の仕組みの違いやスタッフの役割、Amazon が展開しているグローバルビジネスを肌で体験してもらいました。



小田原 FC での「ジョブシャドウ」の様子

【ご参考:小田原 FC でのコミュニティ活動】

- 小田原 FC にて、地元自治会と津波避難訓練を実施(2014年6月)
- 小田原市かもめ図書館への書籍寄贈、展示
2014年6月18日に発表した「オールタイムベスト児童文学100」(www.amazon.co.jp/alltimechildren)に選出された書籍を寄贈。2014年8月1日~8月31日まで、小田原市かもめ図書館にて展示。
- 近隣住民と桜のお花見会を実施
2014年4月に、小田原 FC 敷地内にある一本桜の緑地にて、近隣住民をお招きした桜のお花見会を開催。

6月26日(金)に小田原市役所において、上記の Amazon と小田原市の取り組みをまとめたパネル贈呈式を実施。贈呈したパネルは小田原市役所内に展示いただきました。

Amazon では、今後も地域と連携した取り組みを進め、お客様のさらなる利便性を追求し、サービスの強化に努めてまいります。

Amazonについて

Amazonは1995年7月にWorld Wide Web上でスタートしました。Amazonは4つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazonプライム、フルフィルメントby Amazon(FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindleダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire Phone、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echoなどは、Amazonが先駆けて提供している商品やサービスです。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾン ジャパン株式会社

プレス対応 Tel: 03-6367-4117

プレス対応 E-mail: press@amazon.co.jp

株式会社プラップジャパン

Tel: 03-4580-9103

E-mail: pr-amazon@ml.prap.co.jp